

日本学術会議・東北大学主催市民公開シンポジウム  
「市民社会のなかの人文・社会科学－市民との対話－ PART 2」  
の開催について

1. 主 催 日本学術会議第一部、東北大学
2. 後 援 (財)日本学術協力財団 (文学研究科 GCOE、法学研究科 GCOE 共催)
3. 日 時 2010年7月25日(日) 14:00～17:00
4. 場 所 東北大学マルチメディア教育棟 2階マルチメディアホール  
(宮城県仙台市青葉区川内 41)

5. 開催趣旨

日本学術会議の活動の一環として、人文・社会科学の諸学問が現代社会に生起している様々な課題にいかに取り組んでいるか周知することを目的に、「市民公開シンポジウム 市民社会のなかの人文・社会科学－市民との対話－ PART 2」を開催する。

この趣旨から、講演のテーマとして「新しい公共性」、「貨幣・法・言語と人間社会」、「危機方言」、「平泉遺跡群の評価」といった身近な問題を取り上げるものである。

6. 次 第

開会挨拶 (14:00～14:15)

広渡 清吾 (日本学術会議第一部長、専修大学法学部教授)

井上 明久 (東北大学総長)

講 演 (14:15～16:50)

司会 木村 茂光 (日本学術会議第一部幹事、東京学芸大学教育学部教授)

(1) 「日本の方言とその将来」 (14:15～14:50)

木部 暢子 (日本学術会議連携会員、人間文化研究機構国立国語研究所副所長)

(2) 「都市平泉の遺産」 (14:50～15:25)

入間田宣夫 (東北大学名誉教授・東北芸術工科大学教授)

～ 休 憩 ～ (15:25～15:40)

(3) 「共生社会をめざして－新しい公共性－」 (15:40～16:15)

今田 高俊 (日本学術会議会員、東京工業大学大学院社会理工学研究科教授)

(4) 「貨幣・法・言語と『人間』

－なぜ人文社会科学も『科学』であるのか－」 (16:15～16:50)

岩井 克人 (日本学術会議会員、国際基督教大学客員教授)

閉会挨拶 (16:50～17:00)

栗原 和枝 (日本学術会議会員、日本学術会議東北地区会議代表幹事、

東北大学多元物質科学研究所教授)